



MediBeads

モイストヒートパック

温湿熱パック

MICROWAVE
**MOIST
HEATPACK**

一般医療機器
製造販売届出番号
13B3X00138000003

モイスタチャー(水蒸気)が身体を気持ちよく温める
洗って繰り返し使用でき、実は使い捨てより経済的



モイストヒートパックの効果

- 首、肩のこりをほぐす
- 腰の痛み、筋肉痛、神経痛を和らげる
- ストレス緩和
- 疲労の回復
- 眠気を誘う

こりや痛みの原因

筋肉の疲れ

同じ姿勢を続けたり、特定の筋肉ばかり使い続けると、筋肉の中の酸素が不足し、乳酸などが作られ、筋肉が硬くなり、こりを感じる。

血液の流れ

疲れて硬くなった筋肉は近くの血管を圧迫し、血液の流れを悪くする。すると筋肉の中に発生した乳酸などが流れず筋肉内に溜まってしまふ。筋肉に届く酸素の量も減り、さらに乳酸が作られ、筋肉が硬くなる。ますますこりを感じる。

末梢神経の傷

揉んでもよくならない、ジーンとする、いつもと同じ場所がこる場合、末梢神経の傷が考えられる。疲れて硬くなった筋肉や溜まった乳酸などの刺激によって、近くを通る末梢神経は圧迫されたり、傷ついたりする。末梢神経は痛みやしびれを脳に伝える神経であるため、圧迫されたり傷つくと、その場所がジーンとしたり、違和感が生まれたりする。それがこりや痛みとして感じる。

首や肩のこり、背中や腰の痛み、筋肉痛や神経痛には 温熱療法が効く



なぜ？

温熱で身体を温めると、組織の新陳代謝を活発化させ血管を拡張させることによって血液循環を改善し増加した血流は患部から余分な物質(乳酸など)を運び出し、筋肉の収縮・緊張をほぐして無理なく伸張できるように助ける。さらに、痛覚伝達システムに作用して痛みを減少させる。

モイストヒート(温湿熱)について

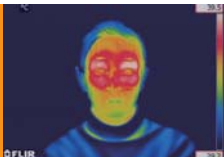
乾いた熱より湿った(モイスト)温かさのほうが熱の浸透性が高く、短時間に温熱効果を得られやすい。

乾熱は汗に蒸発を誘い汗の蒸発は気化熱を必要とし、皮膚の熱を奪う。

従って、皮膚と皮下温度の上昇を維持するためには熱浸透率の高い温湿熱のほうがよい。



モイストヒートパックで肩を温めたサーモグラフィ



モイストヒートパックで顔面を温めたサーモグラフィ

さらに

内科的な効果として、皮膚に温熱刺激を与えると皮膚が充血しそこに関係のある臓器の炎症が引いたり変調が戻ったりする。特に、花粉症による鼻水・鼻づまりに最適だ。ドライアイや眼精疲労にも良い。

お風呂に入って温まった時のような気持ちよいということはとても大切で、治るということに通じる。

